

# 上志津原 たより

11月号...平成17年10月30日発行  
 発行者...上志津原町会  
 発行責任者...上志津原町会広報係  
 印刷...花島印刷 043-461-5552  
 背景はダイナミックゴルフうら

## 第六回 定例班長会議

平成十七年度  
9月30日  
19:00~21:00

主な議題と討議内容

- 一、第二期町会費集金の件  
会計より第二期町会費の集金をお願いがあった。
- 二、幹線道路除草作業の件  
九月四日の除草作業の際の注意事項、各班のゴミ処理袋の数の確認が行われた。
- 三、運動会の件  
準備の進捗状況の説明と役割分担の再確認が行われた。
- 四、赤い羽根共同募金の件  
第二期町会費集金の折りに募金活動も併せて行うことを確認した。
- 五、森の茶屋開催について  
九月十日午後一時より、はらトピアにて会費百円などの話があった。
- 六、新宅造計画の件  
原二四一(一)玉木二班エリア)で行われている宅地造成工事の、説明会開催の話があった。
- 七、栗林・南中野地区宅造の件



### 主な内容

- \* 第6回定例班長会議・・・P-1
- \* 第7回定例班長会議・・・1
- \* やめよう、犬の放し飼い・・・1
- \* 宅地造成説明会について・・・1
- \* 町会運動会を偲ぶ・・・P-2
- \* 第52回  
上志津原大運動会について・・・P-3
- \* 子供会バス遠足・・・3
- \* 幹線道路除草作業のお礼・・・3
- \* 敬老会 なごやかに行われる・・・3
- \* 私たちの町会・・・P-4
- \* 七五三のならわし・・・4
- \* 絵てがみ・・・4
- \* 転入出のお知らせ・・・4
- \* 編集後記・・・4

## 第七回定例班長会議

平成十七年度  
10月1日 19:00~21:00

主な議題と討議内容

- 一、第三期町会費集金及び赤い羽根募金時における町会員皆様の意見  
赤い羽根募金に何わせて頂いた折りの町会員の皆様の声を、各班長から出し合った「募金などの目標金額が設定されているのはおかしい」などの声があったようです。
- 二、九月四日実施 幹線道路清掃の反省  
環境部長より幹線道路除草作業の反省がなされた。
- 三、班長会議開催時、会場設営の件  
東・西・南地区の順番で、二〇分早く来て会場の準備
- 八、自治会館(はらトピア)に不審者無断侵入の件  
八月二十八日に某団体が使用中のはらトピアに、不審者が無断侵入するという事件がおきた。実害は無かったが、文書を回覧し、注意を促すことにした。・・・以上



毎月第1土曜日の夜7時より、はらトピアで班長会議が開かれます。中山会長を中心に真剣そのもの・・・。

- 四、運動会進捗状況及び最終確認  
プログラムの一部変更や、傷害保険をお願いした事などの報告があった。
- 五、新設街灯ワット数の変更の検討  
街灯のワット数の変更(明るいもの)を検討したが、予算の関係で本年度は40ワットのままで変更しないこととし、来年度の総会の議題にするようにした。
- 六、宅地造成(栗林地区22軒・新栄台地区33軒・玉木二班地区14軒 計69軒)に伴う新班設置検討委員会の設置の件  
宅地造成に伴う転入者の班の割り振りを検討し、来年度の総会に提案するための、準備段階の検討委員会を設置するようとした。・・・以上

### 上志津中より依頼の件

上志津中学校より、町会の皆様に依頼がありました。上志津中学校の生徒の学校外における行動で、何かお気づきの事がございましたら、上志津中までご連絡ください。

(487)1786 上志津中学校

# 危険

## やめよう 犬の放し飼い

先日、はらトピアの投稿箱に投書がありました。内容は、放し飼いの犬による被害の事でした。投稿主の被害はかなり深刻なようです。また、犬の牙が小さい子供などに向けられた時のことを思うと、ぞっとします。犬の放し飼いはやめて下さい。左記はその投稿の全文です。

## お願い

### 犬を放さないで下さい。

土曜、日曜に犬を放す人がいます。先日15日の土曜の夜も、2匹の猟犬が網を破り、烏骨鶏20羽が全部殺されました。今回で3回目、合計56羽の被害です。今度、放たれた犬を見たら、野良犬として対処致しますので、ご了承ください。

## 宅地造成説明会

### 南中野二四一番の

去る、9月17日(土)の夜7時より、南中野341番地の1(玉木二班地区)で行われている、宅地造成工事の説明会がありました。施業者側から3名、町会からは、町会長以下役員及び周辺居住者約20名の出席がありました。開発許可経緯や開発概要の説明を受けた後、質疑応答がなされました。



# 無情の雨 運動会が中止に

今年の第52回上志津原町会大運動会は14年ぶりに11月(長雨)8日間連続降雨)にたたられ、残念ながら中止になってしまいました。

10月8日(土)  
準備はしたのですが・・・



10月9日(日)も雨  
予備日の10月10日(月)も雨・・・

ご覧の様な水溜り  
田植えなら

出来そうですが  
運動会は  
どう見ても無理でした。  
(入場門がむなく  
立っていました)



その代わりと言っては何ですが、

町会運動会が中止になって「原たより」の紙面が大幅に空いてしまいました。今号は昔の運動会がどんなものだったのか、元町会長の山下三好さん・好さんご夫妻に当時の様子をお話して頂きましたので、その内容をQ&A方式で掲載します。 : 広報係り

## 町会運動会を偲ぶ

第1回 上志津原町会運動会(当時は上志津原開拓団)  
開催日: 昭和29年11月23日  
場所: 開拓団共有地(現在の児童公園)



和49年は斉藤さん所有の空き地(現在の斉藤石油の裏)で開催させてもらい、翌50年には現在の「原ランド」に移ったと記憶しています。



アルバムを前に、当時の運動会を思い出しながら話してくださった山下さんご夫妻。ご協力に感謝いたします。(10月22日 ご自宅にて)

Q 運動会は、勤労感謝の11/23と決まっていたようですが、寒かったですか？  
A そうですね。寒かったです。全体的に農家ですから芋掘り・麦蒔きが済まないとい一段落できませんでした。ですから運動会に参加できるように一生懸命頑張ったものですよ。(笑) 確かに寒かったです。半纏(はんてん)を着て走ってました。(笑)

Q 競技種目にマラソンがあったようですが？  
A そうですね。私は出場した事がないのでよく分かりませんが、会場をスタートして栗林の道を南下し、行き止まりで東方向に左折、又行き止まりで左折を繰り返して、町内を回って来るコースだったようです。マラソンは平成元年まで続きましたが参加者が少なくなってきたため中止になってしまいました。工藤さんの断トツの走りを今でも覚えています。その他には南京袋に入ってビヨビヨン跳んでゴールする競争や、ピン釣り競争等がありました。

Q 入賞品はどんなものでしたか？  
A 町会で用意したものは、学用品やバケツ等の日用雑貨でしたが、圧倒的に多かったのは光莫大小からの寄贈でした。売り物にならないチョイ傷品も大量に回してくれ大いに助かりました。

Q 何か面白いエピソードはありますか？  
A 第2回大会(S30年)だったと思いますが、大日開拓団の武井班と合同運動会をしたことがあります。確か一回きりでしたが、Q 何故一回きりで中止になったのですか？

A 年齢構成が多少違ったこと(向こうが若い)それに価値観の違いみたいなのがあって・・・  
Q 例えは？  
A 「ジュース飲み競争」で、原の人たちは飲み干してから走るのですが、向こうは走りながら飲むのです。(大笑い) 反則云々でもめる事もあって、翌年も合同の話がきまりましたがお断りしました。



エーッ！ こんな競技があったの？  
「たばこ吸い競争」: 揺れ動く火種... 煙草に火が着いたらゴールに走る競技のようですが、確かに誰も手を使っていません。純情なんですねえ原の人たちは。(昭和41年)

こちらは「お支度競争」 拾ったクジの着物を着付けてから、ゴールに走る競技のようです。それにしても山下さんの奥さん(中央左)のお若いこと！(唯一カラーでしたのでS45年頃?)



### 第52回上志津原大運動会について

誠に残念の一言です。

運動会の全面中止は過去に一度あったかなかつたか、という珍事が起こってしまいました。

開催日(9日)、翌日の予備日(10日)とも無情の雨。この期間は晴れの特異日であり、運動会開催日決定時(4月)は、2日間とも雨になることなど予想も想像もしていませんでした。自然現象でやむなく中止の決定は出したものの、町会員皆様の期待を裏切り、又、開催準備に多大なご尽力を注いでいただいた各協力団体皆様のご苦勞を思うと、未だに心中複雑なものがあがり割り切れない気持ちです。

新たに運動会開催を検討いたしましたでしたが、種々条件が合わず、誠に残念ですが平成17年度上志津原大運動会の実行を断念いたしました。町会員皆様にご理解を戴き、ご容赦を賜ります様お願い申し上げます。

大会委員長 中山 亜茂

### 運動会実行委員より

運動会実施に向け万全を期し微力ながら頑張っていました。不運にも天候に見放され10月9日及び10日とも雨天による中止という結果になってしまいました。

是非、来年の運動会実現に向け、次期実行委員に託すと共に、**引継書に「てるてる坊主」を用意**、と記そうかなと思っております。

運動会実行委員 杉澤・村田・白坂



達食班長、食事を準備する。班長、食事を準備する。班長、食事を準備する。

### 子供会バス遠足

夏休み中の8月24日、子供会のバス遠足が行われました。行き先は千葉城とプラネタリウム。48人の参加者があったそうです。



### 作文 バス遠足について

六年 大久保 歩

八月二十四日に、情報と科学のフロアというところに行きました。はじめは行ったことがなかったし、興味もなかったのであまり楽しみにはしていませんでした。

でも行ってみると、いろいろな作品などが置いてあって楽しかったです。車のゲームなどもあります。すごいと思いました。ぼくは学校の宿題の自由研究をまだやっていなかったため、情報と科学のフロアの作品の中から一つ自分で出来そうな物を選びました。

選んだ作品は、釘がいくつかささっていて、下から物をおし出すと、それがそのまま写るといしくみの作品です。

これなら家にある物で出来ると思ったので、その作品を少し小さめに作ってみました。



家に帰ってからさっそくやるうと思っただけでも、よく作り方がわからなかったためよく思い出しながら作っていきくと、作り方がわかりました。作ってみると、いかにむずかしかったのです。でもせっかくバス遠足につれて行ってもらったので、がんばって作ろうと思えました。釘をいれなおしているのが大変で、何度か失敗して全部釘を入れるだけでも一時間ぐらいかかりました。でもあきらめずがんばってやっていると、四日で作りました。

完成したときはすごくうれしかったです、自分で

ためしてみるとちゃんとバス遠足で行ったような作品が出来て、ビックリしたし、ものすごくうれしかったです。

また情報と科学のフロアに行って、いろいろな作品などのしくみを考えてみたいですね。それからプラネタリウムもまた行きたいです。バイキング料理もおもしろかったです。

小学校生活最後の夏休みは、いい思い出がつくられて行ってよかったと思います。また行ってみたいです。

### 幹線道路除草作業のお礼

本年度の第2回幹線道路清掃は、9月4日に実施いたしました。心配した台風も西へ行き、大丈夫と安心していましたが、八時頃しぐれてヒヤリとさせられました。

しかし、無事に終了し集まったゴミの山も翌々日に市の方で回収して頂き、すっかり上志津原はきれいになりました。

皆様、大変ご苦勞様でした。(環境・衛生担当 墨田・森重)



9月4日の幹線道路除草作業の際に集められたゴミもつもれば山となる。

### 敬老会 なごやかに 行われる

敬老の日の9月19日、新築完成したばかりの上志津中学校体育館で、志津南地区社協の敬老会が開催されました。

招待されたのは75歳以上の方々759名、うち上志津原の方は118名で、当日、多数の方々が出席されました。



会は上志津中学校吹奏楽部の演奏で始まり、式典後、志津わかば幼稚園児の合唱、下志津小学校児童の和太鼓、南志津小学校児童の金管バンド、上志津中学校生徒の吹奏楽、などを楽しみました。

上志津原の方々はいつものように、前の方に集まって席をとり、歓談しながらこの日の行事を楽しみました。

敬老会は地区社協が、福祉委員の総力を挙げて運営していますが、受付は町会にお願いし、小林重男様と友利茂人様にご協力いただきました。

また、中学生にもお手伝いいただき、参加者の案内やお茶サービスなどで活躍していただきました。上志津原の中学生も多数ボランティア活動しました。演芸でも上志津原の幼児・児童・生徒多数が出演し、楽しませてくれました。

小林さん、友利さんには会終了後の、欠席された方への記念品の配布活動も福祉委員といっしょにやっていたいただきました。ありがとうございました。そして演芸出演やボランティア活動でがんばってくれた、幼児・児童・生徒のみなさん、ありがとうございました。

敬老会は、志津南地区社協会長・白石孝一氏の「来年もみんなお元気で会いしましょう」との閉会の言葉で幕を閉じました。

なお、敬老会に先立つ15日、地区社協会長の百歳訪問がありました。玉木二班・益子様方の永島エツ様(101歳)と、ゆたか苑にいらっしゃる牛田光様(100歳)です。おふたかたともお元気で、訪問を喜んでくださいました。

(志津南地区社協広報部会 宮武孝吉・記)



# 私たちの町会

糸井 文字

私は今まで何度か引越をくり返し、五年前上志津原に落ち着く事になりましたが、上志津原ほど町会制度が整っている地域は経験した事がありませんでした。二十余もの班があり、それぞれに班長さんがいて、町会行事も充実している……。はじめは驚きと少しの戸惑いを感じました。

しかし徐々に上志津原にも慣れ、自分も班長を経験する事で、町会の価値とその存在の意味がわかるようになりました。

ただ班長(役員)は、立候補ではなく順番に従事しなければならぬ為、負担に感じてしまったり、何かを犠牲にしなければならなくなったりと、少し残念な現実があるのも事実のようです。その為、運動会をはじめとする町会行事を廃してもよいのではないかとつい意見まで耳にした事があります。誰かの負担になるのであれば致しかたないかも・・・という気持ちにもなります。

でも果たして、これだけ伝統と歴史のある町会の規模を小さくする事が上志津原のためになるでしょうか。世代、性別、職業をはじめ、育ってきた環境も全く違い、様々な人生経験を持つたくさんの人々が集結した団体にはないでしょう。その中で、子供達から学ぶ事、人生の大先輩から学ぶ事、考え方や社会的立場は違つけれど、上志津原を大切に想つ気持ちは共通している人々とのふれあいは、とても貴重な財産になるはずです。だからやはり町会の存在は大切にしたい。

班長(役員)さんたちの負担を少なくするために必要なのは、町会行事の縮小ではなく、班長ではない大多数の町会員が積極的に町会行事に参加し、お互いに感謝し合い、協力することではないでしょうか。……了

## 読者のコーナー

町内会の皆様の寄稿や作品のコーナーです。作品や文章を寄せて下さった皆様、ありがとうございます

## 七五三のならわし

いよいよ七五三シーズンを迎え、楽しみにしておられる方も多いかと思いますが、少し七五三のならわしについてお話したいと思います。

昔は赤ちゃんや小さな子供の死亡率が高かったので、七つ前は神の内と言われていました。七歳を過ぎ、無事に社会の一員になったという通過儀礼が、七五三の起源だと言われています。



### 三歳の「髷」(かみおき)

昔子供は新生児の時、特定の個所の産毛だけを残して、丸刈りにしていました。そして、三歳から髪を伸ばし始めたのです。そのお祝いが「髷置」の儀式です。

### 五歳の「袴着」(はかまぎ)

### 七歳の「帯解」(おびとけ)

昔は男の子は五歳で初めて袴をはきました。そして、子供の着物について考えてみると、産着「一つ身」「二つ身」とその後成長していくに従って「四つ身」になると、それまでであった「付け紐」がなくなり、帯が必要になりました。これが「帯解」の儀式です。五歳、七歳で男女の区別が明確になり、新しい出発を意味していたのです。

このように、もともと公家や武家の習俗として行われていた儀式が、形を変えて行われるようになったのです。

もともと七五三は、一定の日を定めず吉日に行っていました。神社のお祭りは霜月に行われることが多く、ことに十五日は秋の暮りのお祭りでした。「この日」子供の成長段階に合わせて健康と長寿をとともに祈ったのです。十一月十五日にお参りするようになったのは江戸時代から、七五三という言葉を使うようになったのは明治以降、そして今のような賑わいになった

のは大正時代からなのだそう。お参りに行くとか歳給をいただきますが、「数え切れないほどの歳月をかさねる」との縁起物なんです。

さて、我が家の双子も今年三歳の七五三を迎えます。やはりドレスというよりか、昔ながらに着物を着せませう。夏が終わった頃から、着物の準備にそわそわしてしまい、早々に揃えてもらいました。子供たちに羽織らせてみたところ、とても嬉しそうでした。着物を着る機会などがなかなかないので、やはりこつこつならわしは大事にしなければと思いました。

七五三のならわしについて少し勉強したので、ただただ子供の成長を喜んでいましたが、迎えるにあたって神聖な気持ちになります。まだ理解するには難しいと思いますが、少し子供たちに七五三の話をしてあげたいな。(S.M)

## 絵てがみ



絵てがみサークル「あざみ」を主催されている 清水さんの作品です

絵てがみの良さは、みじかなものをモチーフに描くことです。月一の絵手紙教室を始めて二年……にもなりますと、皆々上達し絵(構図)と言葉のパランスも良く、また、ユニークな言葉に本当に上手いなと感じるほどです。

四月から入られた方達も頑張っていますし、新鮮さを感じ、それぞれの個性で和気合々楽しんでいきます。教えながら、教わることも多々あります。そして私自身、親の介護をしながらですが、合間をみて観察し、集中して描いています。

ひととき癒され、幸せ気分、お友達との交流も大事にし(絵てがみのやりとりも楽しいものです。)これからも、ずーっと続けていけたら嬉しいですね。喜びはつくるもの……。 清水 峰子

転入	
西地区	一組 高木 嗣夫さん 7月
西地区	一組 福井 恒次さん 8月
転出	
西地区	六組 佐藤ヨシ江さん 7月
西地区	六組 中山 泉さん 8月

## 編集後記

今号の「上志津原たより」は当初の予定では、2面に渡り、運動会の特集記事を中心つもりでしたが、無情の雨、今号の記事をどうしようかと、思案をしていたのですが、そこに、救世主が。

元町会長の山下ご夫妻のご協力で、立派な運動会特集記事ができあがりました。また、いつもながらパソコン倶楽部様の御協力には大変感謝致しております。

今号の紙面には、町会員の方が寄稿して下さいました文章などが、たくさん載っております。広報係では「上志津原たより」を、町会の皆様のご意見や趣味の発表の場としたいと考えております。掲載ご希望の方は、はらトピアの投稿箱に投稿していただくか、広報係・及川までご連絡ください。(四八九)五三九 広報・及川 (広報係)